

今こそ全ての 尼崎市市民に 問います。

どうして
同和地区の
住所が
言えないの？



スマイル
じんけん考座

— ネットで曝される部落差別 —



日時

2018年

11月24日(土)

午後1時15分～5時

参加費
無料

講師

阿久澤麻理子さん

(大阪市立大学大学院
都市経営研究科・教授)

場所

尼崎市立地域総合センター **神崎**

尼崎市神崎町14-22

ファシリテーター

細見義博さん

(NPO法人スマイルひろば
事務局長)

申込

先着40名

お名前、ご所属(任意)、ご連絡先を明記してください。

e-mail smile.kanzaki2006@gmail.com

電話 06-6439-6500

Fax 06-6499-3500

主催 NPO法人スマイルひろば
後援 尼崎市・尼崎市教育委員会

この講座は、(公社)尼崎人権啓発協会補助金交付事業を受けて実施します。

差別は、いけないと知っていても、

部落差別や同和問題をもっとわかりたい方、大歓迎です。

午後1時15分～
問題提起

「部落差別と現代の若者の意識」



講師：阿久澤麻理子さん

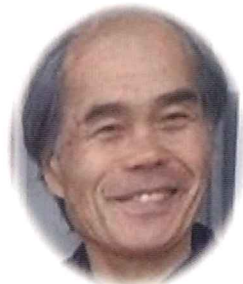
(大阪市立大学大学院
都市経営研究科・教授)

1963年大阪生まれ。2011年より大阪市立大学教員。専門は教育社会学。社会調査を通じて、人権の概念や基準が市民にどう理解され、受容されるのかについて研究。尼崎市人権教育・啓発推進懇話会委員、姫路市人権啓発センター運営推進会議委員、(公財)人権教育・啓発推進センター理事。

若者の人権意識調査や大学生レポートの実態から、インターネットでの「部落の地名」の公表がどのように部落差別を拡散しているのか、ソーシャルメディアを利用する危険性を説明します。

午後3時15分～
ワークショップ

「Yahoo!知恵袋
ベストアンサーをめざそう」



ファシリテーター

細見義博さん

(NPO法人スマイルひろば
事務局長)

2003年に起こった「尼崎市インターネット差別書込み事件」に取り組む。現在「尼崎市モニタリング事業を活用した職員研修」にファシリテーターとして関わる。2006年廃館になりかけた旧青少年会館を使って、スマイルひろばを地域と共に立ち上げる。

双方向性をもったソーシャルメディアにおいてインターネット上の差別記載に対して、どのように対応していけばいいのか、グループワークのワークショップで体験をします。

アクセス 阪神バスのご利用

- JR 尼崎駅から乗る
☆23番 芦ノ内行き およそ11分で「遊女塚」につく
- 阪急園田駅から乗る
☆23番 阪神尼崎行き → およそ7分で「遊女塚」につく
→「遊女塚」から西へ、およそ7分、歩く
- JR 尼崎駅から乗る
☆24番 阪急園田行き → およそ10分で「神崎北団地」につく
- 阪急園田駅から乗る
☆24番 阪神杭瀬行き → およそ7分で「神崎北団地」につく
→「神崎北団地」から南へ、およそ5分歩く

- センターには、車いす用の駐車場がありません。近くのコインパーキング等をご利用ください。
- 大雨または暴風警報が発令された場合は、事業を中止させていただきますので、ご了解ください。

